

キャラクター名 狩桜燐（嵐戒）	プレイヤー名
--------------------	--------

メインクラス	ウォーリア	Lv.1:		レベル	9
サポートクラス	カンナギ	Lv.1:	シーフ	性別	男
称号クラス				年齢	15
種族	ヴァーナ			境遇	義理の親
出自 (効果)	一般人			目標	正義

	筋力	器用	敏捷	知力	感知	精神	幸運
基本値	17	20	23	6	12	9	8
ボーナス	5	6	7	2	4	3	2
クラス修正	1	1	1	0	1	1	1
他修正							
能力値	6	7	8	2	5	4	3

HP	98
MP	62
フェイト	6

装備品		射程	命中	攻撃	回避	物防	魔防	行動	移動
右手	大刀（光の槍）	至近	0	14	0	0	0	-2	0
左手									
頭部	ハット					1			
胴部	キルビイリ					8			-2
補助	ファインバックラー					4			-1
装身具	豪傑の証								
能力値			7	0	8	0	4	13	11
スキル	オーバーパス、フェイスダグデモア、元ディティ				2			3	5
その他	豪傑の証		1			5			
総計(右)			8	14					
総計(左)					10	18	4	14	13
総計(両)									m
ダイス数			3 d	2 d	3 d				

	能力値	スキル	その他	合計	ダイス数
トラップ探知	5			5	+ 2 d
トラップ解除	7			7	+ 2 d
危険感知	5			5	+ 2 d
エネミー識別	2			2	+ 2 d
アイテム鑑定	2			2	+ 2 d
魔術判定					+ d
呪歌判定					+ d
錬金術判定					+ d

所持品	
ベルトポーチ&バックパック	野菜*
冒険者セット	キャロルからの預かり
ポーションホルダー	
	万能薬
HPポーション*1	
MPポーション*5	
毒消し	
にく*2	
野菜*10	
調理器具（中華）	

現在重量：	23	所持金：	1197	預金・借金：	
最大重量：	24				

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
オーバーパス	★	-	パッシヴ	-	自身	-		
効果：	狼族、移動力+5m、行動値に+1							
バッシュ	5	4	メジャー	武器	単体	命中		
効果：	武器攻撃を行う。ダメージロールに+[SLd]							
セイクリッドダンス	4	6	メジャー		自身	精神	S/SL	
効果：	あらゆる判定に+1d。この効果はクリンナップごとに5MPを支払い続ける限り継続する。							
	1							
効果：								
コールゴッド：カグツチ	5	5	マイナー	-	自身	自動		
効果：	《セイクリッドダンス》の効果中のみ使用できる。攻撃のダメージ+「SL*4」シーン継続。							
スマッシュ	1	5	マイナー	-	自身	自動		
効果：	ダメージ+【筋力】							
	1							
効果：								
チャネリング	1	6	セットアップ	-	自身	自動		
効果：	《セイクリッドダンス》と同時に使用する。この効果で《セイクリッドダンス》をセットアップで使用できる。							
	1							
効果：								
スラッシュブロー	2	3	ダメージロール直前		自身	自動	1/s	
効果：	ダメージロール+(SL×2)d。シーン1回。							
	1							
効果：								
ドッジムーブ	1	2	効果参照	-	-	-	盾非装備	
効果：	回避判定の達成値+「SL+2」							
ボルテクスアタック	1	-	効果参照	-	自身	自動	1/S	
効果：	武器攻撃と同時に使用。「対象:単体※」にしてダメージ+[CL×10]する。							
コールゴッド：イザナギ	2	6	効果参照	-	自身	自動	1/R	
効果：	《セイクリッドダンス》の効果中のみ使用できる。貴方が行ったダイスロールの直後、SL個以下の任意のダイスを振りなおす。							
	1							
効果：								

「法眼流御空門一番弟子、狩嵐戒。レリクスセカンドの規則に基づき、生徒会を執行する！」
「この風を止めることが出来たのなら。私はそのためここあります……言葉が変？ 共通語、あまり得意ありません」
「壮士ーたび去りて復た還らず。苛烈を恐れ去ることあらんや（勇敢な戦士は帰らぬ覚悟で戦いに臨む。恐怖に苛まれ逃げることなどありはしない）」

セーリアから混在学術都市レリクスへとやって来た留学生。
法眼流御空門という東方流派を使う一端の武俠。他人の幸せを心から喜べる優しさの持ち主であり、誰かの幸福を守る為であれば損得を抜きにして戦える勇敢さを持つ。武術に関しては歳不相応なほどの使い手であるがそれをひけらかし周囲を圧することを好まないため、手に持つ大刀を包丁に持ち替えては得意の料理を周囲に振舞っている。自らを武人として育てた師父や姉弟子、実の両親に強い愛情と尊敬を抱いており、「強く優しく生きること」【彼らが自分に与えてくれたものに合うような生き方が出来る人間になりたい】と願っており、武術も料理もその手段に過ぎない。この世界の幸福を守る意思。それこそが彼の気質の根源となっている。師より嵐戒の字を貰っており、狩嵐戒と名乗ることも多い。

生まれはセーリアの辺境の村。どこにいても普通の両親から何の変哲もない普通の子どもとして生まれ、人一倍の愛情を注がれて育った。しかし、彼が3歳の頃故郷の村が嵐に見舞われ壊滅。周囲一帯を吹き飛ばして地方ひとつが大飢饉に見舞われるほどの災害をもたらした。満足な食料もなく、一家心中する家族も少なくなかった。そんな中、彼の両親は我が子を手放してでも助ける道を選び、子を捨てた親として後ろ指を指されることを覚悟で縁のあった武俠に我が子を託そうとした。しかしその武俠はそんな両親に気を遣い、持っていた金を差し出して言った「この子は私がお前たちから金で買う。人でなしは私だけでよい。お前たちはこの金でなんとしてでも生き延びろ」と。以来、その武俠は桜燐の師父（義理の親）となり、彼を育てた。桜燐は幼かったが、その全てを知っている。実の両親が愛する故に自分を手放したことも。師父は桜燐が実の両親を憎まないよう気を遣い、自分を悪く言っていることも。あの飢饉を生き延びた両親と師父が未だに手紙でやり取りしていることも。全て知った上で、感謝している。敬愛している。何よりも大切にしながらも自分を助けることを選んだ両親の愛を。見ず知らずの自分の為にそれまでの人生を曲げてまで育ててくれた師父の義を。ならば自分は、そんな誇るべき家族に相応しい人になりたい。彼の中には未だあの時の嵐が消えずにある。無常の嵐は時を選ばず、この世に二つとなき花を吹き散らす。ならば、自分はその風を止めるものになりたいと願い、師は彼に風を止めるもの、【嵐戒】の字を送った。やってきたのは異郷の学舎。地も空も違えども、彼の願いはひとつだけ。

